SEICHO Since1947

BLUEBIRD 学校だより 第３号

令和7年6月2日発行
東京都立青鳥特別支援学校
校長　髙橋　馨

悔しさは 努力したことの証

校 長　髙 橋　馨

三軒茶屋校舎での3回目となる体育祭は、雨により翌火曜日の開催となりましたが、平日にもかかわらずたくさんの保護者の皆様に参観いただきました。おかげさまで、熱い励ましと声援を受けながら、子供たちは今年の体育祭スローガンの通り、『元気いっぱいに力を合わせ』て、練習の成果を発揮することができました。ありがとうございました。開会式での少し緊張した面持ちから、閉会式のやり切ったという達成感に満ちた表情、こぼれるようなたくさんの笑顔。子供たちは、体育祭という特別な場での体験を通して大きく成長したことが伝わってくるようでした。そして、短い時間の中で変化していく子供たちの様子から、こうした体験活動の大切さを改めて実感させられました。

ところで、体育祭という体験活動には「勝ち」と「負け」があります。「勝ち」の嬉しさや達成感、「負け」の残念な気持ちや悔しさ、それらは全て成長の糧となる大切な学びです。例えば、「悔しい」という気持ちは、目標に向かって一所懸命取り組んできたからこそ感じることができる、頑張ったことの証でもあります。ですから、結果にかかわらず努力した経験は必ず次の頑張りに生かされていきます。

６月を迎え現場実習が始まります。困ったり悩んだり、全ての体験が大切な学びです。学校と家庭がしっかりと連携し、成長へとつながる体験が積み重ねられるよう、引き続きよろしくお願いいたします。

★体育祭

お天気の神様は気まぐれで、雨で体育祭を少し待ってくれと言ったかと思うと、今度は都内初の真夏日・晴れという大きなプレゼントをいただきました。

開会式・選手宣誓で生徒代表の二人が声高らかに宣言しました。
「見せましょう　元気な力を」
「見せましょう　全力プレイを」
「見せましょう　職能開発科と普通科の団結を」
「見せましょう　青鳥魂を」

野球ファンならおなじみの元楽天・島基宏さんの名セリフを少々お借りしましたが、体育祭で見せてくれた生徒たちの意欲あふれる元気な力、力の限り走った全力プレイ、演技をとおして学科の枠を飛び越えた交流と団結、それらを全部まとめた青鳥魂を生徒たちはいかんなく発揮してくれました。

閉会式で見せた生徒たちの充実した表情は、お天気の神様の気まぐれを忘れさせてくれる清涼感にあふれていました。　（久保田浩司）

★八丈分教室より

「島唐辛子栽培」

皆さん島唐辛子（島民は島唐と呼びます）を知っていますか？
スコヴィル値（辛さの値）は鷹の爪の2倍の10万スコヴィル。
小粒だけどビリリと辛い八丈島の名物。分教室で生産している
シマカラ（七味唐辛子）の材料でもあります。今回、八丈高校園芸科の
皆さんが育てた島唐の苗を畑に植え付けました。6月から11月ごろに
かけて、2000本以上の島唐が実る予定です。今年も分教室の
「シマカラ」をお楽しみに！　（大沼匡平）